

20雲監第647号
平成20年10月17日

国土交通省
道路局長 金井 道夫 様

雲仙市長 奥 村 慎太郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

長崎県雲仙市

道路は、安全で安心できる国土の実現を図るためには欠かせないものです。

特に、本県は多くの離島や半島からなり、地理的・地勢的に大きなハンディキャップがあります。離島や半島地域にとって道路整備は企業の誘致や物流の促進等に重要な役割を果たすだけでなく、急激に高齢化が進む中で高度な医療機関との連携や有事の際の輸送、避難路の確保を図る上で必要不可欠なものです。

しかしながら、今日の道路事業は通行量を大きな根拠として実施されており、通行量が基準に満たないとの理由から地方の道路整備が遅れてしまうのではないかと不安を抱えております。

地方にとって道路は、集落機能を維持、保全するという意味でも最も基礎的な施設であり重要なものです。

このようなことから、通行量に左右されることなく真に必要な道路整備が進むよう次の事項を要望、提案します。

○PIをいっそう充実すること。

道路施策への提言など、市民団体等との「対話と協調」を取り入れた道路施策を進める。

○地域の実情に即した事業効果の検証をすること。

事業の効果を交通量だけでなく、地域の実情と照らし合わせ客観的に検証することが必要と考えます。

○新技術の開発、活用により計画や工程の見直しなどコストを減らす努力をすること。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②-1 地域の現状と抱える課題

長崎県雲仙市

○現状

島原半島は国道3路線、主要地方道3路線、一般県道15路線の幹線道路から道路網が形成されておりますが、急峻でカーブが多く半島全体の物流、観光資源活用に障害となっております。

特に、半島西部の主要な道路は国道57号のみで、有事の際の代替道路は皆無と言ってもいい状況です。

一方、市内の道路網を形成する市道については、合併から3年を経過した現在も旧町地域ごとに幹線となる国道に接続するよう縦断的に整備されており、旧町地域間を結ぶ横断的な道路が少ないのが現状です。

○課題

島原半島にとって地域住民が安全かつ快適に往来することができるよう交通体系の整備が必要です。

また、緊急輸送路等の重点的な整備を実施し、災害発生時の危機管理体制の確立を図る必要もあります。

市内においては、地域間を結ぶ道路の新設や、既存の市道も拡幅・改良が必要な路線も多く維持・補修も大きな課題となっています。

このようなことから、地域全体の道路ネットワークを踏まえた道路整備計画の策定を行う必要があります。

○道路ネットワークの確立

- ・企業、工場立地に欠かせない高速道路、地域高規格道路の整備を図ることで物流全体の効率化を高める。
- ・地域住民が安全、快適に往来できる交通体系の確立を図り、地域全体が均衡のとれた発展を遂げること。

○交通拠点の整備及び公共交通の充実

- ・地域住民の重要な公共交通機関である鉄道、路線バスの効率的な連絡を図るための拠点となる交通ターミナル等の整備を行うこと。
- ・道路は、地域活性化、物流の促進のため都市や交通拠点を結び様々な交通機関を支える基盤である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

長崎県雲仙市

○重点事項 道路ネットワーク の整備	○代表事例 地域高規格道路「島原道路」	○期待する効果や評価等 本路線は南島原市深江町を起点とし諫早インターチェンジを結ぶ延長約50kmの道路であり、九州横断自動車道と直結して一体的なネットワークを形成することにより、広域交流促進や空港、港湾等の交通拠点との連結が可能となり島原半島地域にとって島原道路が果たす効果は絶大であり必要不可欠なため早期整備を必要とする重要路線である。	○その他